

研究で身につけた力を“見える形”にする

TSパスポート 申請の手引き

院生さんなら
みんな
もらえるよ



詳しくはキャリア開発支援本部のHP

https://cdpd.nara-wu.ac.jp/nwu_transferable_skill/

大学院生の強み＝トランスファラブルスキルのページ

令和8年度から「TSパスポート」としてスタートした制度の手引きです。
あなたの就職や進学などのキャリア形成を、研究をキーワードにした強みとして表現することを応援しています。

- 目次
1. 表紙
 2. 3 TSパスポート申請要領
 4. TSパスポートB申請手順
 5. トランスファラブルスキル RISE関連授業履修確認票
 6. TSパスポートA申請手順
 7. TSパスポートA申請書
 8. TSパスポートとは？

TSパスポートBの申請

10月 毎週金曜日をしめきりとして、G棟4階のG406（キャリア開発支援本部）で受け付けます。 TSパスポートAは随時受け付けます。



____様

年 月 日付け「トランスファラブルスキル RISE関連授業履修確認票」により、あなたがトランスファラブルスキルの能力向上に資する科目群を履修したことを証明します。

今後は研究活動やキャリア形成の過程で、これらのスキルが自分自身の強みとなるよう意識し、言葉で表現できるよう、多面的な自己理解を進めてください。

国立大学法人奈良国立大学機構
奈良女子大学大学院
人間文化総合科学研究科長 高地 リベカ



____様

年 月 日付けで承認した「TSパスポート A(Advanced)申請書」により、あなたが研究活動や学修で培った自己のトランスファラブルスキルについて考察し、自らの強みとして表現することに取り組んだことを証明します。

今後もさらなる研鑽を積み、社会のリーダーを目指して、能力発現に努められることを期待します。

国立大学法人奈良国立大学機構
奈良女子大学大学院
人間文化総合科学研究科長 高地 リベカ

トランスファラブルスキル習得状況の明示化とさらなる活用に向けた取組
奈良女子大学大学院 Transferable Skills Passport(TS パスポート)申請要領

男女共同参画推進機構 キャリア開発支援本部

奈良女子大学では、大学院生のキャリア開発の一環としてトランスファラブルスキル (TS) の習得支援を推進してきました※。TS は「研究で身につく転用可能な能力」であり、さまざまなスキルの総称です。これまで、 $4 \times 3 = 12$ のスキルの一覧表 TS-RISE を用いて幅広い概念を理解するために、そして、各自の強みを探索、自己点検するツールとして活用を推奨してきました。※キャリア開発支援本部 HP から https://cdpd.nara-wu.ac.jp/nwu_transferable_skill/

このたび、TS 習得状況を段階別に証明する制度として、本学大学院独自の取組である「TS パスポート」を創設しました。これにより、要件を満たすための活動を通して学生は TS に対する理解を深めることができます。加えて、就職活動などにおいて、例えば履歴書やエントリーシートの資格欄などにその名称を表記でき、また自らが研究活動や授業の受講を通して獲得した TS と、キャリアとの関連について、明確に説明できるようになることが期待されます。

以下に、2 段階の名称とその取得要件等を示します。いずれもキャリア開発支援本部が窓口となり、大学院において発行します。

1) 奈良女子大学大学院 Transferable Skills(TS)パスポート B(Basic):

対象:博士前期課程学生

目標:TS と授業科目との関連を理解して授業の中で得られたスキルを意識し、今後のスキル向上の動機づけができる。

取得要件:「トランスファラブルスキル RISE 関連授業履修確認票」(確認票)を提出

申請方法:

- ① キャリア開発支援本部の HP 等から「確認票」Excel 版をダウンロードする。
- ② 「集計表シート」に自分の履修する科目番号(7 桁の講義コード)を入力する。自動的に「確認票」に該当するスキルの合計が転記される。
- ③ 成績が発表され、単位を取得できた科目のみの「確認票」に必要事項を記入し、指導教員のサイン(入力でも可)とコメント(任意)をもらう。
- ④ プリントアウトした確認票を、キャリア開発支援本部(G406)に提出する。
- ⑤ 後日、研究科長の押印済みの確認票と、TS パスポート B が発行される。

2) 奈良女子大学大学院 Transferable Skills(TS)パスポート A(Advanced):

対象:博士前期課程学生、博士後期課程学生

目標:(博士前期課程) TS パスポート B の目標に加え、TS とキャリア(仕事)との関連を理解し、自己のスキルについて明確に言語化できる。

(博士後期課程) TS-RISE の観点で自身の研究活動等を振り返り、TS とキャリア(仕事)との関連を理解し、自己のスキルについて明確に言語化できる。

取得要件:以下の①～⑤のいずれかの要件を満たすこと。

- ① （博士前期課程）TS パスポート B の取得と TS に関する動画の視聴およびレポート（400 字以上）、RISE を活用した自己 PR 文（500 字以上）の提出
→キャリア開発支援本部から助言（添削）が受けられる
- ② （博士前期課程）TS パスポート B の取得と C-ENGINE 等の中長期研究インターンシップ参加（動画視聴とレポート作成が含まれる）。自己 PR 文の提出は任意。
→キャリア開発支援本部から助言（添削）が受けられる
- ③ （博士後期課程）授業（キャリアセミナーA・自己分析ワークスタイルセミナー）の受講
- ④ （博士後期課程）SGC-NEXUS 受給者の内、海外派遣もしくは研究インターンシップに参加し、TS-RISE に関する項目を含む報告書を提出
- ⑤ その他、研究科長（キャリア開発支援本部長）が認めた場合

申請方法：

- ① 取得要件を満たす前に、キャリア開発支援本部のキャリア・コーディネーターに相談することが望ましい。特に取得要件①、②については相談および支援を受けることを前提として取り組むこと。
- ② キャリア開発支援本部の HP 等から TS パスポート A 申請書をダウンロードし、該当する項目を記入し、指導教員の確認を経て、キャリア開発支援本部に提出する。
- ③ 取得要件を満たしていることが承認された場合、TS パスポート A が発行される。

問合せ先

奈良女子大学 男女共同参画推進機構

キャリア開発支援本部

URL <https://cdpd.nara-wu.ac.jp/>

Email career-k@cc.nara-wu.ac.jp

Phone & FAX 0742-20-3572

大学院生の強み＝トランスファラブルスキル(TS) 研究で身につけた力を“見える形”にする



https://cdpd.nara-wu.ac.jp/ts_passport/

質問は、遠慮なくキャリア開発支援本部まで。
メールまたは、G406まで来てね

Excelシートは
キャリア開発支援
本部のサイト
(QRコード) から
DLしてね

TSパスポートBは こうして手に入れよう！



《TS-パスポート B (Basic)》 →→ 履修科目とTSの関係を理解しよう

● あなたの受けた科目もTSとつながっています

大学院（博士前期課程）の授業をTS-RISEで「スキル」という観点からとらえてみよう

準備するもの：

- 博士前期課程の履修科目（学部の人に履修したものも含む）の**科目番号（講義コード）**がわかるもの
- 右上のQRコードのサイトから「**R8_トランスファラブルスキルRISE確認票_集計表付き（学生名）Excel版**」（右図）をダウンロードする

確認票作成手順：

- 上記Excelファイルの「**集計表**」タブに、履修した科目の**科目番号（7桁の講義コード）**を入力し、番号と科目名、教員名が合っているか確認する。
- 表の上にスキルの合計が表示される。
- 科目番号の記入が終わったら、「**確認票**」タブを開く
- 上部の**履修期間**を記載する。6年一貫制度の該当者は学部の時に履修した科目の履修開始時期を記入してください。
- スキルごとの科目数が自動的に転記されていることを確認。
- 下の欄に自分の所属・氏名と「**今後の研究活動やキャリア形成で注力したいスキル**（記号で記入、複数可）」を記入。
- プリントアウト（またはデータ送信）して**指導教員に渡し**、教員名とコメント（任意）の記入を依頼する。

提出とTSパスポートB受け取り：

- 教員から返却された確認票（データの場合は印刷したもの）を**キャリア開発支援本部**（G棟4階G406）に提出する。
- 後日、キャリア開発支援本部で研究科長の押印済みの**確認票とTSパスポートBを受け取る**。

パスポートの記載内容：下図参照。サイズは名刺大の二つ折り

就活の場面ではこんなふうに説明しよう

お問合せ： 男女共同参画推進機構
キャリア開発支援本部
E-mail career-k@cc.nara-wu.ac.jp
TEL 0742-20-3572 @G棟4階 G406

奈良女子大学大学院トランスファラブルスキル RISE

関連授業履修確認票（ 履修開始 年 前期・後期～ 年 前期・後期 ）

大項目	小項目	備考	関連して修得した科目数
Research governance and organization 研究遂行に関するスキル	R-1. 安全、コンプライアンス意識および情報管理技術	・健康、安全、法令遵守・研究倫理等の重要性が理解できる ・研究者としての情報管理技術、知的財産権、秘密保持などの契約関係について理解し、高い意識を持つことができる	0
	R-2. 研究の基本的な進め方	・研究の目的、背景を理解して、課題設定を行い、研究を取り巻く諸事の要因に配慮しながら研究計画を立てることができる	0
	R-3. 資金管理・調達	・研究を進める際、および、事業を行うにあたっての資金管理 ・調達の仕組み、実態の理解ができる	0
Intelligence and knowledge 知識・知的能力	I-1. 理論的知識、情報収集力、数学的応用力、語学力・文章読解力	・課題解決に必要な基礎知識を有し、必要な情報を収集することができる ・数理科学の知識をベースに数値解析できる	0
	I-2. 分析／統合力、論理的思考力、問題解決力	・課題解決力、論理的思考、分析・統合力等を駆使して研究・開発を遂行できる	0
	I-3. 洞察力 探究心 議論 展開力	・自らの経験を活かし、新しいアイデアと裏付けとなる根拠を提示して、社会にインパクトを与える、画期的／創造的な議論ができる	0
Social relationship 他者や社会との関係に係るスキル	S-1. チームワーク力、他者との協働	・チームの戦略・目標、役割分担を理解し、協働できる ・他のメンバーの強み・弱みを理解し、意思疎通を図ることができる	0
	S-2. コミュニケーション能力	・研究遂行にあたって研究室内外および異分野の関係者の理解を得ることができる ・様々な情報伝達手段を用いて十分な議論ができる	0
	S-3. 研究結果の社会への還元	・研究結果を社会に実装するプロセスを理解できる ・社会的利益を生み出す可能性のある新製品開発や既存の研究の新しい活用法について考案・発案することができる ・グローバル展開の重要性が理解できる	0
Effectiveness 自己開発に係る スキル	E-1. 研究への取り組み姿勢	・強みと弱みを自覚して、研究に活かすことができる ・熱意、持続力・忍耐力、責任感、主体性、専門家としての誠実さを持って行動できる	0
	E-2. 自己管理、時間管理	・目的を達成するために明確な研究計画を立て、効果的な時間管理を行える ・ストレスマネジメントとワークライフバランスを考慮して自己管理ができる	0
	E-3. キャリア開発、専門能力開発	・専門的能力の持続的開発が必要であることを認識している ・経験を分析的に振り返り、自己改革のサイクルを追求する ・キャリアプランを描くことができる ・幅広い研究コミュニティ内で信頼関係に基づく協力的ネットワークを構築できる	0

所 属 人間文化総合科学研究科 博士 期課程 年 専攻 コース

氏 名 指導教員名

今後の研究活動やキャリア形成で注力したいスキル（記号で記入、複数可）：

指導教員コメント（任意）：

本学生が、上記のとおり、トランスファラブルスキル RISE の能力向上に資する奈良女子大学大学院博士前期課程授業科目群を履修したことを証明する。

発行日： 年 月 日

国立大学法人奈良国立大学機構奈良女子大学大学院 人間文化総合科学研究科長 高地リベカ 印

大学院生の強み＝トランスファラブルスキル(TS) 研究で身につけた力を“見える形”にする



https://cdpd.nara-wu.ac.jp/ts_passport/

質問は、遠慮なくキャリア開発支援本部まで。
メールまたは、G406まで来てね



TSパスポートAが
本当の意味での
「強み」の証明です。
表現力も磨いてね！

TSパスポートAは こうして手に入れよう！

《TS-パスポート A (Advanced)》 →→ 研究で得た自分の強みを言語化しよう

- 強みは「表現できてこそ」希望するキャリアへのパスポートになります

あなたの研究活動から生まれた「強み」を言葉にしよう！ それは仕事でも活きる「強み」です。



複数の方法で申請ができるから、
自分に合った方法を選んでみよう

【取得要件】以下のいずれかの申請で取得できます。

- ① TSパスポートB(博士前期課程)
+ 動画視聴レポート + 自己PR文
- ② TSパスポートB(博士前期課程)
+ インターンシップ + 動画視聴レポート
- ③ 博士後期課程の授業履修：キャリアセミナー、
自己分析・ワークスタイルセミナーのいずれか
- ④ SGC-NEXUS海外派遣・研究インターンシップ
- ⑤ その他、キャリア開発支援本部が認めるもの

奈良女子大学大学院
Transferable Skills (TS) パスポート A (Advanced) 申請書

【申請者】氏名:	学生番号:
【所属】人間文化総合科学研究科 博士前期・後期課程 年	専攻
【連絡先】メールアドレス:	コース
【取得要件】該当するものすべてにチェックを入れてください	
☐ ① TS パスポートB(博士前期課程) + 動画視聴レポート + 自己PR文	
☐ ② TS パスポートB(博士前期課程) + インターンシップ + 動画視聴レポート	
☐ ③ 博士後期課程の授業履修: キャリアセミナー、自己分析・ワークスタイルセミナーのいずれか	
☐ ④ SGC-NEXUS 海外派遣・研究インターンシップ	
☐ ⑤ その他	
【添付書類】取得要件に該当するものの中継ぎに添えてください	
☐ ① TS パスポートBまたは後期課程の写し	
☐ ② 動画視聴レポート (400字以上)	
☐ ③ 自己PR文 (500字以上)	
☐ ④ インターンシップ参加報告書(企業・団体からのメールの写し等)	
☐ ⑤ 授業の提出物のうちTSについて記述した部分の写し	
☐ ⑥ TSの記述を含む報告書の写し	
☐ ⑦ 取得要件に該当する取得証明書の写し	
【実施内容の概要と研究活動におけるTSの習得状況、キャリアとの関連についての考察】	
【指導教員確認欄】本申請書に、添付書類の添付をお願いします。	
氏名:	
コメント(任意):	
【キャリア開発支援本部記入欄】 受付日:	受付者:
【承認欄】	
本学生が、申請の通り、研究活動や学修で培った自己のトランスファラブルスキルについて考察し、自らの強みとして表現することに取り組んだことを証明しています。	
発行日:	年 月 日
国立大学法人奈良女子大学 人間文化総合科学研究科長 高地リベカ	

これが申請書だよ。
自分が主体的に動かないとね。



上のQRコードから、申請書がダウンロードできます。
取得要件ごとに必要な「添付書類」も書かれているので、準備してね。

博士前期課程の人は、①か②だね。特に①の自己PR文(500字以上)は、
キャリア開発支援本部で確認(添削)してもらうことをおすすめするよ。



パスポートの記載内容：下図参照。サイズは名刺大の二つ折り

就活の場面ではこんなふうに説明しよう

TSパスポートAの使い方

エントリーシートや履歴書の資格欄や自由記述欄に記載することができます。
(例)奈良女子大学大学院 TSパスポートA 取得

面接等でこのTSパスポートというの何ですか？と聞かれた場合には、
以下のように説明しましょう。詳細は以下のQRコードをご覧ください。

(説明)
奈良女子大学では、大学院の学びや研究活動が社会でどう活かせるかを「可視化(見える化)」する取組をしています。TSとは、トランスファラブルスキルのことで、転用可能なスキルという意味です。TSパスポートAは研究活動などで身につけた自分の「強み」を考察し、言語化したことを証明するものです。

問い合わせ先: 男女共同参画推進機構 キャリア開発支援本部

奈良女子大学大学院
Transferable Skills
Passport
A (Advanced)

研究で培われるトランスファラブルスキルRISE

Research governance and orientation 研究運営スキル	Intelligence and knowledge 知能・知的能力	Social relationship 社会や社会との関係づくりスキル	Effectiveness 自己開発スキル
R-1: 情報管理技能、安全、コンプライアンス意識	I-1: 専門知識、情報収集力、学習的記憶力、思考力・分析力	S-1: チームワーク、他者との関係	E-1: 研究への取り組み姿勢
R-2: 研究の基本的な進め方	I-2: 分析・総合力、問題解決力、問題発見力	S-2: コミュニケーション能力	E-2: 自己開発、時間管理
R-3: 資金管理・調達	I-3: 読解力・読解力、読解力	S-3: 研究活動の社会への還元	E-3: ネットワーク構築、専門能力開発

RISEは研究学園イノベーション人材育成協議会(C-NEXUS)のIPDFを参考に作成しました。

このTSパスポート
って何ですか？



奈良女子大学では、大学院の学びや研究活動が社会でどう活かせるかを「可視化(見える化)」する取組をしています。
TSとは、トランスファラブルスキルのことで、転用可能なスキルという意味です。TSパスポートAは研究活動などで身につけた自分の「強み」を考察し、言語化したことを証明するものです。

お問合せ： 男女共同参画推進機構
キャリア開発支援本部
E-mail career-k@cc.nara-wu.ac.jp
TEL 0742-20-3572 @G棟4階 G406

Transferable Skills (TS) パスポート A (Advanced) 申請書

人間文化総合科学研究科長 高地リベカ

研究で身につけた力を“見える形”にする

TSパスポート

院生さんなら
みんな
もらえるよ



詳しくはキャリア開発支援本部のHP https://cdpd.nara-wu.ac.jp/nwu_transferable_skill/
大学院生の強み＝トランスファラブルスキルのページで

文部科学省が推奨する*、大学院生の強み＝トランスファラブルスキル（Transferable Skills：TS＝研究で培われる転用可能な能力）は、大学院の授業、研究活動、研究インターンシップ等の中で、自分ごととして意識化することで発見、強化することができます。TSパスポートは、これを段階的に整理・言語化して、キャリア選択や就職活動で活用できる形にする奈良女子大学独自の制度です。

* <https://www.mext.go.jp/kaigisiryoy/content/000033161.pdf>

《TS-パスポート B (Basic)》 →→ 成績表で自己分析！

● あなたの受けた科目もTSとつながっています

大学院（博士前期課程）の授業をTS-RISEで「スキル」という観点からとらえてみよう

《TS-パスポート A (Advanced)》 →→ 自分の強みを言語化しよう

● 強みは「表現できてこそ」希望するキャリアへのパスポートになります

あなたの研究活動から生まれた「強み」をTS-RISEをヒントに言葉にしよう

TSパスポートの活用例…履歴書にも書ける

● TS-RISEは大学院生の就活の武器になる

あなたの研究で
得た、考え方や
取り組み姿勢を
わが社で活かし
てください。



うわっ、やっぱり
RISEのスキルって
企業さんに
刺さるんだ！！

● TS-RISEを研究上の 目標設定のガイドに

好きで選んだテーマだけど、
研究スキル（やり方）を
意識してみると、研究成果
への道筋が見えてきたよう
な気がする。
研究って面白い！



C-ENGINEは産と学の交流をとおして イノベーションを創出できる人材育成をめざす大学・企業のコンソーシアムです			
学生が身につけるべきトランスファラブルスキル R I S E			
トランスファラブルスキルRISEは、研究者として自立するためのスキルセットであり、大学や企業など、どこにおいても有効に活用されます。これは研究を通じて培われ、再発見・意識されることで、今後のキャリアに活かすことができます。			
Research governance and organisation 研究遂行に関するスキル	Intelligence and knowledge 知識・知的能力	Social relationship 他者や社会との関係に係るスキル	Effectiveness 自己開発に係るスキル
R-1 安全、コンプライアンス意識 および情報管理技術 ・健康、安全、法令遵守・研究倫理等の重要性が理解できる ・研究者としての情報管理、技術、知的財産権、秘密保持などの契約関係について理解し、高い意識を持つことができる	I-1 理論的知識、情報収集力 数学的応用力 語学力・文章読解力 ・課題解決に必要な基礎知識を有し、必要な情報を収集することができる ・数理科学の知識をベースに数値解析ができる	S-1 チームワーク力、他者との協働 ・チームの戦略・目標、役割分担を理解し、協働できる ・他のメンバーの強み・弱みを理解し、意思疎通を図ることができる	E-1 研究への取り組み姿勢 ・強みと弱みを自覚して、研究に活かすことができる ・熱意、持続力、忍耐力、責任感、主体性、専門性としての誠実さを持って行動できる
R-2 研究の基本的な進め方 ・研究の目的、意義を理解して、課題を設定を行い、研究を取り巻く諸事（原因に配慮しながら）研究計画を立てることができる	I-2 分析/統合力、論理的思考力 問題解決力 ・課題解決力、論理的思考、分析・統合力等を駆使して研究・開発を遂行できる	S-2 コミュニケーション能力 ・研究遂行にあたって研究室内外および異分野の関係者の理解を得ることができる ・様々な情報伝達手段を用いて十分な議論ができる	E-2 自己管理、時間管理 ・目的を達成するために明確な研究計画を立て、効果的な時間管理を行える ・ストレスマネジメントとワークライフバランスを考慮して自己管理ができる
R-3 資金管理・調達 ・研究を進める際、および、事業を行うにあたっての資金管理・調達の仕組み、実際の理解ができる	I-3 洞察力、探究心 議論展開力 ・自らの経験を活かし、新しいアイデアと裏付けとなる根拠を提示して、社会にインパクトを与える、創発的・創造的な議論ができる	S-3 研究結果の社会への還元 ・研究結果を社会に実装するプロセスを理解できる ・社会的利益を生み出す可能性のある新製品開発や既存の研究の新しい活用法について考察・発案することができる ・グローバルな視点が理解できる	E-3 キャリア開発、専門能力開発 ・専門的能力の持続的開発が必要であることを認識している ・経験を分析的に振り返り、自己改革のサイクルを追求する ・キャリアアップを働くことができる ・幅広い研究コミュニティ内で、信頼関係に基づいた協力的なネットワークを構築する

TS-RISEは4×3＝12に整理されたスキルの一覧で、産学協働イノベーション人材育成協議会（C-ENGINE）が策定したものです。

より詳しい「具体例付きのシート」も上記サイトからダウンロードできます。「強み」の言語化にお役立てください。

お問合せ：男女共同参画推進機構
キャリア開発支援本部

E-mail career-k@cc.nara-wu.ac.jp
TEL 0742-20-3572 @G棟4階 G406